

学習スペースについて



医学部
看護学科 2年
タカハシ ミズキ
高橋 瑞季

「私ちょっと図書館寄ってく」「今日夜図書館行こうかな」毎日のようにそんな声を耳にします。そのたびに、図書館は私たち学生にとってとても身近な存在なのだなと感じます。医学分館はたくさんの医学書がそろっていたり、命について深く考えることができる「生と死のコーナー」があったり、特別利用で24時間利用することができたりと、勉強を様々な面で支えてくれる素敵な場所です。

ただ、ひとつ気になることがあります。それは「図書館の席をとった」という声も多いことです。国試対策などで特別に許可される場合を除き、図書館は席とり禁止となっていますが、席を離れるときも自分の荷物を置いたままにしている人がいます。これにより空いている席がなくなってしまう、せつかく図書館で勉強しようと来た人が勉強できないということがよく起こっています。

でも、席をとっている人たちも悪気はなく、仕方なくそうしているのだと思います。なぜなら、その人たちも席をとらなければ他の人にとられてしまい、勉強するスペースがなくなってしまうからです。

特に国試前やテスト期間中は、図書館を利用する人の数に比べて、学習スペースが少ないように感じます。私は、学生の強い味方であり本当に素敵な場所であるこの図書館だからこそ、もっと多くの人が利用できる場所であってほしいと思います。学習スペースを増やすなどしてこの問題が解決すれば、今よりもさらに利用しやすい図書館になるのではないのでしょうか。

新しい図書館



医工大学院
生命工学 修士2年

チン イン
陳 穎

今年の4月に山梨大学附属図書館がリニューアルオープンしました。私もその時から図書館のカウンター業務をやらせて頂いています。

1階にラーニング・コモンズができ、皆で勉強したり、ミーティングしたりすることができました。また1階の奥に最新の雑誌、新聞が置いてあり、沢山の花や緑などの中で本を読んだりすると、まるで喫茶店の中のように癒されます。

夜間のバイトをしている時、皆がラーニング・コモンズで一緒に勉強したり、サークルのミーティングをしたりする姿を見ると、なぜかすごく暖かい感じがしました。図書館はもちろん本を読んだり、借りたりするという「本とコミュニケーション」する空間ですが、新しくなった図書館には「人と人をコミュニケーション」する空間を造りました。勉強すると言うことは本から知識を貰うだけではなく、他の人の経験から勉強することもできます。人も皆それぞれの個性や、経験、知識を持っていますので、他人という本から勉強することも私達にとってとても大事なことだと思います。

またラーニング・コモンズに置いてあるテーブルや椅子をパズルのように自由に動かしたり、組み合わせたりすることもできます。毎回来る方によって、テーブルや椅子の配置が変わるため、「今日はどんな形状なんだろう」と思いながら見に行くのを楽しみしていました。

友達またいろいろな方と充実した大学生活を過ごしたい方、是非一度、足を運んで、新しい図書館へ本と、人とコミュニケーションしてみてください。